

米原市立息長小学校

令和6年度 我が校の学ぶ力向上策

【市町 目標】

子どもの自己肯定感と自己有用感を高める教育の推進
 ・主体的に学ぶ意欲を高め確かな学力を育む教育の推進 ・人間力を育む教育の推進 ・地域のよさを生かした特色ある教育の推進

【学校 目標】

○やさしく かしく しなやかに

【現状と課題】

- 視点1 主体的に学習に向かう姿勢や自分の考えに自信をもって表現する力が必要
 ○視点2 互いを認め合い、安心して表現できる学級集団づくりが必要
 ○視点3 OJTや校内研究を充実させ、教師の力量を高めることが必要

取組事項および評価指標

【視点1】子どもたちが主体の授業づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①めあてをしっかりと持ち、学びの足跡を振り返ることができる授業づくりに努める。 ②ICTの効果的な活用や学び合い学習を通して、学びが深められる授業をめざす。	①授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分で取り組むことが70%の児童ができている。(児童質問用紙) ②90%以上の児童が「ICTを積極的に活用できた」と答えている。(全国学力学習状況調査6年、市学力調査4年、学校評価)		

【視点2】学びを支え合う集団づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①学習規律を身につけ、自分の思いや考えが安心して表現し合える学習集団づくりに努める。 ②すべての場面で生徒指導の4つの視点(自己存在の感受・共感的な人間関係の育成・自己決定の場の提供・安全・安心な風土の醸成)を生かした指導を心がける。	①90%以上の児童が「学びのベース」(本校の学習規律)を意識して学習に取り組んでいる。(学校評価) ②80%の児童が、将来の夢や目標をもっている。(児童質問用紙)		

【視点3】協働して取り組む学校づくり

取組事項	評価指標	1回目 評価	2回目 評価
①外部の指導を積極的に仰ぎながら校内研究(国語科)やその他の教科の授業研究会を通して、教師の授業力を高める。 ②計画的・継続的にOJT研修を実施し、ベテランと若手教員の互いの力量を高める。	①地域人材も含め、教育活動に人的な資源を積極的に教育計画に取り込み、実践できた。(学校評価教師・保護者・学校運営協議会で75%) ②OJTの研修の時間が年間10回以上確保できた。		

- ◇職員会議で学ぶ力向上推進リーダーが学ぶ力向上策について説明し、夏期休業中に全国学力・学習状況調査や市の学力調査の結果から学ぶ力向上策の見直しに取り組み、後半の取り組みにつなげる。
 ◇地域学習に重点を置き、地域のよさを進んで学ぶ子どもを育成し、多くの発見や学びを体験から生み出す授業づくりを目指す。
 ◇指導案の作成や研究授業について指導をいただき、検証・改善を行いながら、校内研究(国語科)やその他の教科の授業研究に取り組むとともに、かしこく部会を中心に児童の語彙を広げる活動に取り組んでいく。

今年度の取組の成果と課題